

[文]学部1年男子の 合格体験記

自己紹介

文学部人文社会学科 青森県出身 高校の時は吹奏楽部でトロンボーン吹いてました。現在はおおわんとヨット部マネージャーです。一般入試で入学しました。

東北大を志望した時期とその理由

志望した時期： 高3の秋
理由： 先生に勧められたため。

受験期の勉強方法

得意科目だった英語はとにかく場数をこなそうとひたすら長文問題を解いていた。読んでいてわからない単語があってもすぐに調べずに推測してとりあえず1回目は解いた。2回目読む時は分からなかった単語を調べ、それによって変わる答えは違う色で書いて、自分の単語類推力がどれくらい当たっていたのか分かるようにした。単語帳は朝のバス通学の時にひたすらやった。英語は文理どちらにも必要なので大切にしておくべきだと思う。

モチベーションの保ち方

1年間しんどい日々を送れば、ドラマに出てくるような夢のキャンパスライフが4年間も続けられると考えたら、勉強も頑張れた。もし結果が悪いなどモチベーションが下がりそうになったら、好きだった先生と気が済むまで話して頑張ろうと思った。

受験直前～当日

1人で前日入りした。最初に大学までの行き方を実際に地下鉄に乗って確かめた。オープンキャンパスに行ったことが無かったためとても新鮮だった。そして、最終確認の勉強をする場所探しに行った。自分はホテルで勉強するのは向いていないと思ったので、メディアテークの図書館に行った。するともう受験生でいっぱい、最終的に予備校の自習室にたどり着いた。そこで読んだ過去にやった英語長文と同じ題材のものが本番に出たので嬉しかった。

大学に入学して…

【一人暮らし】

自分はどちらかと言うと早く一人暮らししたいタイプだったので、ホームシックなどには特にならなかった。だが、今まで黙っていればご飯は出てくるし、洗濯物は片付いているし、部屋は綺麗だったが、それがすべて自分でやらなくてはいけなくなってしんどかった。帰省した時にまた何もしなくていい日々が味わえてとても幸せ。地元の友達と離れるのも悲しいが、同じ方面に来ている人もいたのでたまに遊ぶと楽しい。

【バイト】

東北大学の学生というだけで塾講師は優遇が効くのでお得。時給が高いから塾講師はいいと言われがちだが、バイトを入れられる回数が少ないので実は月給は少ない。そう考えると飲食系にしたり、ほかの軽めの何かと掛け持ちしたりするのが得策な気がする。そうは言っても、人に勉強を教えて、出来るようになってくれると、とても嬉しいのでやりがいがあるバイトと言える。

受験生へのメッセージ

しんどいのは今だけだから大丈夫！一緒に東北大学で勉強しよう。

